

健康づくり計画・歯と口腔保健計画・
食育推進計画に関する行政の取組

健康づくり計画

1 生活習慣の見直し～分野別・ライフステージ別の健康づくり～

(1) 栄養と食生活

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	1	食生活を振り返り改善するための栄養指導、栄養相談を実施する。	給食の内容について献立検討会・物資選定委員会等で改善に取り組んだ。	給食の内容について献立検討会・物資選定委員会等で改善に取り組んでいく。	保育課
			献立検討会、物資選定委員会等の意見を元に保育園と栄養士が連携して、給食内容の改善や食育指導に取り組んでいる。	献立検討会、物資選定委員会等の意見を元に保育園と栄養士が連携して、給食内容の改善や食育指導に取り組む。	学校教育課
			離乳食教室（15回120人）、親子で遊ぼう！歯っぴい教室（7回54人）で望ましい食生活について講話を行った。また、1歳6か月児健診（20回28人）、3歳児健診（25回17人）、子育て相談（36回127人）において栄養相談を実施した。	食生活の振り返りができるよう、離乳食教室（前期・後期）において、正しい知識を普及する。また、1歳6か月児健診、3歳児健診、子育て相談の個別相談を継続し、正しい知識を普及していく。	健康推進課
	2	栄養に関する正しい知識を普及する。	栄養士と連携し、媒体を使った話の場を設けたり、日々の給食の中で食育栄養パネルを使用し知識の普及に努めた。	栄養士と連携し、媒体を使った話の場を設けたり、日々の給食の中で食育栄養パネルを使用し知識の普及に努める。	保育課
			保育園と栄養士が連携して、食品カード等を用いて食育指導を行っている。	保育園と栄養士が連携して、食品カード等を用いて食育指導を行う。	学校教育課
			「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座」を実施した。 日時：5月8日（水）午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：1～2歳児1名とその家族1名	「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座」等の栄養に関する講座を実施する。	生涯学習課
			離乳食教室（15回120人）の栄養講話、パパママ教室（9回174人）でのバランスガイドの配布を通し、栄養に関する正しい知識の普及を行った。また、1歳6か月児健診（20回28人）、3歳児健診（25回17人）、子育て相談（42回127人）において栄養相談を実施した。	離乳食教室（前期・後期）の栄養講話、離乳食ガイドブックの配布により正しい知識を普及する。また、1歳6か月児健診、3歳児健診、子育て相談の個別相談で栄養に関する知識の普及に努める。食育ボランティアによる栄養講話を実施する。	健康推進課
	3	朝食を取ることが難しい人には簡単な朝食の取り方を提案する。	乳幼児健診（86回）や子育て相談（42回）にて保健師や栄養士が個別相談を行った。また、食育ボランティアによる簡単レシピを広報で掲載したり、栄養講話の実施をし、簡単な野菜の取り方を紹介した。	乳幼児健診や子育て相談にて保健師や栄養士が訪問や個別相談を行う。また、食育ボランティアによるメニューを広報等で紹介する。	健康推進課
	4	妊娠期から母乳育児の指導、相談を実施する。	妊娠期はパパママ教室（9回174人）で助産師による母乳育児の指導を行った。産後は、3～4か月児健診（21回28人）、子育て相談（36回70人）において母乳相談を実施した。また、訪問にて母乳相談が必要な方に対しては、助産師訪問（3人）を実施した。	妊娠期はパパママ教室（年間12回）で助産師による母乳育児の紹介をする。産後は、3～4か月児健診、子育て相談において母乳相談を実施する。また、訪問にて母乳相談が必要な方に対しては、助産師訪問を実施する。	健康推進課
	5	マタニティ教室や離乳食教室等で、望ましい食生活について啓発する。	パパママ教室（9回174人）において、栄養のバランスガイドを配布し、バランスよく食べることの大切さを啓発した。離乳食教室（15回120人）では離乳食ガイドブックを用いて正しい知識の普及を行った。乳幼児健診・子育て相談において必要に応じて栄養士による個別相談し、望ましい食生活の啓発を行った。	妊娠期は母子健康手帳交付時に栄養パンフレットを配布したり、パパママ教室で栄養に関する資料をお渡ししたりする。乳幼児期は離乳食教室（前期・後期）にて正しい知識の普及を行う。また1歳6か月児健診、3歳児健診、子育て相談にて個別相談を実施し、望ましい食生活の啓発を行う。	健康推進課
	6	食文化や食事の大切さ、マナーを家庭に啓発する。	栄養士による園児への指導を行った。また、給食だより及び献立表、楽しく食べようニュースを生かして保護者に啓発を行った。	栄養士による園児への指導を行ったり、給食だより及び献立表、楽しく食べようニュースを生かして保護者に啓発を行っていく。	保育課
			給食だよりや献立表を活用し、保護者への啓発を行っている。	給食だよりや献立表を活用し、保護者への啓発を行う。	学校教育課
	7	食育の日（毎月19日）を啓発する。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に知らせ、啓発に努めた。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に知らせ、啓発に努めていく。	保育課
	8	給食で、伝承行事食として、行事に合わせた食事やおやつを提供する。	給食の献立を園の伝承行事に合わせて提供した。	給食の献立を園の伝承行事に合わせて提供していく。	保育課
			保育園と連携して、園の伝承行事に合わせた献立を提供している。	保育園と連携して、園の伝承行事に合わせた献立を提供する。	学校教育課
	9	保護者の給食への関心、興味を深めるため、給食試食会を実施する。	保育園と栄養士が連携して、給食だよりに「リクエスト献立」のレシピの紹介を行っている。	保育園と栄養士が連携して、給食だよりに「リクエスト献立」のレシピの紹介を行う。	学校教育課
			3・4・5歳児の保護者に対して給食試食会を実施した。	3・4・5歳児の保護者に対して給食試食会を実施する。	保育課
	10	給食だよりの充実を図る。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識を普及している。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識を普及させる。	学校教育課
	11	食育を推進する。	栄養パネルを使用して、その日の給食の内容を確認できるようにしたり、保育園で野菜作りや行事等を実施した。また、各部署と連携して食育の啓発を推進した。	栄養パネルを使用して、その日の給食の内容を確認できるようにしたり、保育園で野菜作りや行事等を実施していく。 また、各部署と連携して食育の啓発を推進する。	保育課
	12	食生活改善推進員の活動を支援する。	広報10月号に食育ボランティアによるレシピを掲載。また、栄養教室（1回）、子育て支援センターで栄養講話（2回）の支援をした。	栄養教室の実施や市公式ウェブサイト及び広報にレシピを掲載する等、食育活動を推進できるように、食育ボランティアの活動を支援する。	健康推進課
	13	保育園を訪問して、幼児に対して食に関する指導を行う。	栄養士が各園を訪問し、園児に対して食品カード等を使用し、食に関する指導を行っている。	栄養士が各園を訪問し、園児に対して食品カード等を使用し、食に関する指導を行う。	学校教育課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
児童期・思春期	14	小学生を対象とした農業体験等、栽培、収穫活動を実施する。	一部の学校の畑でさつまいも・大根・ジャガイモ・カブなどの栽培活動を行っている。また、生活科の授業の一環でミニトマト等を栽培している。	一部の学校の畑でさつまいも・大根・ジャガイモ・カブなどの栽培活動を行う。また、生活科の授業の一環でミニトマト等を栽培する。	学校教育課
	15	食育を推進する。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画を作成している。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めるよう働きかけを行っている。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画を作成する。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めるよう働きかけを行う。	学校教育課
			食育の日には毎月テーマをもった献立を実施し、指導やたよりなどで啓発している。	食育の日には毎月テーマをもった献立を実施し、指導やたよりなどで啓発する。	学校教育課
			食育ボランティアによる料理教室を実施した。 開催日時：10月9日（水）参加者12人	食育ボランティアによる栄養教室を実施し、食育を推進する。	健康推進課
	17	地域の交流や食に対する意識を高めるため、料理教室を開催する。	教室名 「親子パン作り教室」 開催日 令和6年12月14日（土） 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 親子でパンの作り方を学ぶ講座 参加者 親子6組 12人	教室名 「親子パン作り教室」 開催日 令和7年12月 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 親子でパンの作り方を学ぶ講座 定 員 親子8組	人権推進課
			「オーブントースターで焼くパン講座」等、親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施した。 「オーブントースターで焼くパン講座『トマトフォカッチャ&春野菜のポトフ』」 日時：①5月18日（土）午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：小学生とその保護者	「オーブントースターで焼くパン講座」等、親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施する。	生涯学習課
			食育ボランティアによる料理教室を実施した。 開催日時：10月9日（水）参加者12人	食育ボランティアによる栄養教室を実施し、地域の交流、食に関する意識を高める。	健康推進課
	18	望ましい食習慣を身につけさせるよう、栄養教諭・学校栄養職員による指導を行う。	各小中学校において食に関する指導の全体計画①②をもとに指導を実施している。	各小中学校において食に関する指導の全体計画①②をもとに指導を実施する。	学校教育課
青年期・壮年期	19	食生活改善推進員の活動を支援する。	12番のとおり	12番のとおり	健康推進課
	20	食に関する知識の普及や相談を実施する。	「パンとお菓子づくり講座」を実施した。 日時：6月3日・10日・17日（月）午前9時30分～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：一般	「パンとお菓子づくり講座」を実施予定。 日時：5月12日、6月2日・23日（月） 午前9時30分～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：一般	生涯学習課
			特定健診受診者4,573人に対し、健診結果の受け渡し時に食事のポイントや間食のとり方について記載したリーフレットを配布し、食に関する知識の普及啓発を行った。特定保健指導実施者37人に対しては、保健師や管理栄養士による相談及び指導を実施した。	特定健診受診者に対する情報提供として、食事に関する内容を記載したリーフレットを配布する。特定保健指導対象者には、目標に応じて栄養面に特化した教材を使用するなど積極的な栄養指導を行う。	保険医療課
			10月12日（土）に開催された「あまのわ（130人）」や健康づくり応援店の協力店舗にて、1日の野菜摂取量350gの啓発ポスターを掲示。 保健センターの個別栄養相談（5人）で、食に関する知識の普及や相談を実施した。	出前講座やイベント、保健センターでの個別栄養相談や健診、健康づくり応援店にて食に関する知識の普及や相談を実施する。	健康推進課
	21	掲示板、公共施設等身近な場所で目にとまる啓発を行う。	野菜摂取量増加を促すため、市内店舗に対し、“たっぷり野菜🍆あまごはん”「健康づくり応援店」を周知し、市内8協力店舗の飲食店に野菜摂取量促進のためのポスターを掲示依頼した。市公式ウェブサイト、広報あま1月号に掲載した。	引き続き野菜摂取量増加を促すため、“たっぷり野菜🍆あまごはん”「健康づくり応援店」や市公式ウェブサイト、広報等で啓発していく。	健康推進課
	22	広報や市公式ウェブサイトで朝食を取るよう呼びかけるなど、食の大切さについて情報提供を行う。	市公式LINE、メール配信サービス、子育てアプリ、街頭啓発にて付箋の配布（455人）、あまつり等のイベントでのウェットティッシュの配布にて朝食を取るよう呼びかけを行った。また、各施設にて朝食啓発のポスターの掲示をお願いした。	市公式ウェブサイト、市公式LINE、メール配信サービス、街頭啓発にて、朝食の大切さを周知していく。	健康推進課
	23	食生活改善推進員の活動を支援する。	12番のとおり	12番のとおり	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
青年期・壮年期	24	土日の料理教室を開催する。（特に男性向け）	事業名 家事等実践講座「男性とお父さんのスパイスカレー講座」 開催日 令和6年8月31日（土） 場 所 人権ふれあいセンター 2階栄養指導室 講 師 川合好美 内 容 家事（料理）未経験の男性を中心に家事を効率よく行う方法を学び実践してもらった。 参加者 5組10人	実施予定なし	人権推進課
	25	民間企業等と連携して健康志向の手軽な食事を提案する。	6月上旬に健康宣言チャレンジ事業所136か所にあま市の健康づくりメニューを周知し、申し込みのあった8事業所へ健康に関する資料を送付するとともに、出前講座の申し込みがあった1事業所には、10月に出前講座を実施した。	協会けんぽ加入の健康宣言事業所に対し、健康教育や健康情報の提供について希望を確認し、希望があった企業に対して提供する。全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座を通して、生活習慣病予防に繋がる食事を提案する。	健康推進課
	26	健診結果をわかりやすく説明し、食生活の改善を支援する。	特定健診受診者4,573人に対し、健診結果の受け渡し時に検査項目及び判定値の見方、並びに食事のポイントをまとめたリーフレットを配布した。健診結果に関する相談には、個別で説明を実施した。	特定健診受診者に対し、健診結果の検査項目及び保健指導判定値から食生活改善の動機付けを促すリーフレットを配布する。健診結果に関する相談に対し、保健師または管理栄養士による個別説明を実施する。	保険医療課
			各保健センターで個別栄養相談を随時実施した（5人）	多職種からの指導による生活習慣の見直しのため、継続して実施していく。	健康推進課
高齢期	27	高齢者を対象とした栄養教室を実施する。	事業名 「なかよし昼食会」 開催日 奇数月の第3水曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 食生活改善事業として、高齢者を対象に全員で会話をしながら食事を作り、食べる講座を開催。 参加者 37人	事業名 「なかよし昼食会」 開催日 奇数月の第3水曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 食生活改善事業として、高齢者を対象に全員で会話をしながら食事を作り、食べる講座を開催。 定 員 15人	人権推進課
			ワクワクからだ教室、出前講座、一体的事業、いきいき体操などにおいてリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発をした。（253人）生き生き推進隊においてレンジレシピを作成し、イベントやサロン、出前講座などで配布し周知啓発をした。（86人）	ワクワクからだ教室、出前講座、一体的事業、いきいき体操などにおいてリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発をする。生き生き推進隊においてレンジレシピを作成し、イベントやサロン、出前講座などで配布し周知啓発をする。	健康推進課
	28	介護予防教室、栄養相談等で、バランスのとれた食事等の情報提供を行う。	ワクワクからだ教室、出前講座、健康相談、一体的事業、いきいき体操などにおいてリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発をした。（253人）生き生き推進隊においてレンジレシピを作成し、イベントやサロン、出前講座などで配布し周知啓発をした。（86人）	ワクワクからだ教室、出前講座、健康相談、一体的事業、いきいき体操などにおいてリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発をする。生き生き推進隊においてレンジレシピを作成し、イベントやサロン、出前講座などで配布し周知啓発をする。	健康推進課
	29	低栄養、生活機能低下の有無を判定する。	5月下旬13,938名にシニアいきいきアンケート発送。 回答 11,004名（回答率78.9%） 判定結果による啓発を重点的に行ったため、再通知は未実施。	5月下旬にシニアいきいきアンケートを発送する。 8月下旬に低栄養、生活機能低下の有無を判定する。	高齢福祉課
	30	食生活改善推進員・生き生き推進隊の活動を支援する。	生き生き推進隊とともに、高齢者が火を使わず簡単に調理ができる電子レンジレシピの作成、サロンなど通いの場や健康相談での配布に向け、生き生き推進隊の活動を支援した。（役員会8回・定例会10回・周知3回） 食育ボランティア開催の栄養教室を1回、講話を2回実施した。市公式ウェブサイト及び広報10月号にレシピを掲載し、広報3月号にも掲載する予定。食育活動を推進できるように、食育ボランティアの活動を支援した。	生き生き推進隊とともに、高齢者が火を使わず簡単に調理ができる電子レンジレシピの作成、サロンなど通いの場や健康相談での配布に向け、生き生き推進隊の活動を支援する。 食育ボランティア開催の栄養教室実施や、市公式ウェブサイト及び広報にレシピを掲載する等、食育活動を推進できるように、食育ボランティアの活動を支援する。	健康推進課

（2）身体活動と運動

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
妊娠期・乳幼児期	31	妊娠期より、運動の必要性を啓発する。	パパママ教室参加者9回174人の内妊婦89人に対して、妊娠期でも実施できる運動方法を記載した資料を配布した。	パパママ教室参加者に対して、妊娠期でも実施できる運動方法を記載した資料を配布する。	健康推進課
	32	親子で体を動かす事業を実施する。	七宝・甚目寺総合体育館で、幼児と保護者を対象に親子体操教室（スポーツ教室）を開催し、親子で体を動かす事業を実施した。 参加合計人数：54組108人 ・七宝総合体育館 （前期：中止 後期：7組14人） （前期）親子遊び教室（5/16～7/4）全8回 （後期）親子遊び教室（10/10～11/28）全8回 ・甚目寺総合体育館（6/4～12/10）全14回 （1）：25組50人（2）：22組44人） 親子体操教室(1)（午後4時～5時） 親子体操教室(2)（午後5時～6時）	七宝・甚目寺総合体育館で、幼児と保護者を対象に親子体操教室（スポーツ教室）を開催し、親子で体を動かす事業を実施する。	スポーツ課
			親子で遊ぼう！歯っぴい教室（7回54人）で親子で体を動かす機会を設けた。	親子で遊ぼう！歯っぴい教室にて親子で楽しくできる運動を紹介、実施する。	

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	32	親子で体を動かす事業を実施する。	「音とあそぼう🎵講座」等、親子で体を動かすことを楽しむ講座を実施した。 教室名：「音とあそぼう🎵講座」 日 時：11月28日（木）午前10時～正午 場 所：甚目寺公民館 1階 和風会議室 対 象：2～3歳児と保護者	「音とあそぼう🎵講座」等、親子で体を動かすことを楽しむ講座を実施する。	生涯学習課
	33	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	令和6年度も継続して実施した。 児童遊園及びちびっ子広場は、シルバー人材センター、地区町内会、子ども会又は業者に委託し、環境等の維持管理に努めた。	令和7年度も継続して実施していく。 児童遊園及びちびっ子広場は、シルバー人材センター、地区町内会、子ども会又は業者に委託し、環境等の維持管理に努める。	都市計画課 子ども福祉課
	34	運動の大切さを啓発する。	健康推進課の事業（健康マイレージなど）を施設利用者に周知するとともに、広報で運動の大切さについて啓発した。特に、トレーニング室の個人利用者などに行った。	健康推進課の事業（健康マイレージなど）を施設利用者やスポーツ課のイベントで周知するとともに、広報で運動の大切さについて啓発する。	スポーツ課
			健康づくりのきっかけとなる「健康マイレージ」を教室や健診等において周知した結果、1,328名の応募者数があり、健康づくりの取組ができた。広報あまや市公式ウェブサイトでも運動に関して周知し、“Mr. あーまん”による家庭で出来る運動を3種類、配信した。令和2年度に作成した「ずっと We Love あま！体操」の歌に合わせた体操（以下あま体操）を保育園等年長児に対し防煙教室の中で「あま体操」を普及した。（教室回数：14回 参加園児数：571人）親子で遊ぼう！歯っぴい教室（7回54人）に対して、親子で体を動かすことの大切さを啓発した。	健康への意識を高めるため「健康マイレージ」は継続して、応募者数を増やしていく。“Mr. あーまん”をつかって健康づくり計画の取り組みについて動画配信していく。親子で遊ぼう！歯っぴい教室にて保護者の運動も取り入れた親子遊びを実施していく。	健康推進課
	35	親子で楽しめる遊び場や機会、散歩コースの情報を提供する。	あま市子育てガイドブックの配布、あま市子育てカレンダーの作成・配布を行った。	あま市子育てガイドブックの配布、あま市子育てカレンダーの作成・配布を行う。	保育課
			赤ちゃん訪問(377件)で児童館や支援センター、子育て支援を応援する団体やグループの情報を提供した。	赤ちゃん訪問で児童館や支援センター、子育て支援を応援する団体やグループの情報を提供する。	健康推進課
	36	日頃から体を動かすことや適度な運動について情報提供をする。	保育園等年長児に対し、防煙教室の中で、友達や家族とともに楽しめる体操として「あま体操」を周知した。（教室回数：14回、参加園児数：571人）“Mr. あーまん”による家庭で出来る運動を3種類動画配信した。	防煙教室や出前講座にて「あま体操」を周知する。市公式YouTubeやリーフレットで「親子遊び」や「あま体操」を紹介する。	健康推進課
児 童 期 ・ 思 春 期	37	遊びやレクリエーションの参加の機会を拡充する。	遊びやレクリエーションの参加の機会（あまスポーツクラブ事業等）で、様々なスポーツを通じて仲間づくりや、感性豊かな子どもを育む講座を実施した。	遊びやレクリエーションの参加の機会（あまスポーツクラブ事業等）で、様々なスポーツを通じて仲間づくりや、感性豊かな子どもを育む講座を実施する。	スポーツ課
	38	地域でのラジオ体操の普及に協力する。	ラジオ体操の集いを市内3箇所で開催し303人の参加があり、地域でのラジオ体操の普及に協力した。参加合計人数：303人 5/12(日)甚目寺総合体育館野外ステージ 5/26(日)美和中学校運動場 6/9(日)市役所駐車場 ・甚目寺総合体育館野外ステージ（参加人数147人） ・美和中学校運動場（参加人数156人） ・市役所駐車場（雨天のため中止）	市役所駐車場、甚目寺総合体育館野外ステージ、美和小学校運動場でラジオ体操の集いを実施し、地域でのラジオ体操の普及に協力する。	スポーツ課
	39	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	児童遊園及びちびっ子広場は、シルバー人材センター、地区町内会、子ども会又は業者に委託し、環境等の維持管理に努めた。	児童遊園及びちびっ子広場は、シルバー人材センター、地区町内会、子ども会又は業者に委託し、環境等の維持管理に努める。	子ども福祉課
			都市公園はシルバー人材センター、子ども会または業者に委託し環境等の維持管理に努めた。	引き続き、都市公園はシルバー人材センター、子ども会または業者に委託し環境等の維持管理に努める。	都市計画課
	40	放課後に校庭等を開放する。	放課後に学校開放事業として、市内各小中学校の運動場、体育館などを開放した。	放課後に学校開放事業として、市内各小中学校の運動場、体育館などを開放する。	スポーツ課
			放課後に校庭等を開放した。	放課後に校庭等を開放する。	学校教育課
	41	体を動かす楽しさを伝え、運動習慣の定着を図る。	七宝・甚目寺総合体育館、美和公民館でふれあいスポーツ（子ども体育教室）や夏休みスポーツ教室（ドッジボール教室・フットサル教室・キャッチボール教室）を開催した ・ふれあいスポーツ（甚目寺総合体育館）年少児を対象 全3回 参加人数：12人 ・ドッジボール教室（美和公民館、甚目寺総合体育館）小学生を対象 全5回 参加人数 美和公民館：20人 甚目寺総合体育館：30人 ・フットサル教室（七宝総合体育館）小学生を対象 全5回 参加人数：20人 ・キャッチボール教室（甚目寺総合体育館）小学生親子を対象 全1回 参加人数：18組36人	七宝・甚目寺総合体育館、美和公民館で、ふれあいスポーツ（子ども体育教室）や夏休みスポーツ教室（ドッジボール教室・フットサル教室など）を開催し、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じる運動の習慣化を図る。	スポーツ課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
青年期・壮年期	42	健康教室等をきっかけにした運動の仲間づくりの支援をする。	七宝総合体育館で、ボクシングエクササイズ教室、肩こり・腰痛ケアストレッチ教室を開催した。 ・ボクシングエクササイズ教室 参加対象者高 校生以上の一般 全6回 参加人数32人 ・肩こり・腰痛ケアストレッチ教室 参加者高 校生以上の一般 全7回 参加人数27人 1月26日（日）に市民走ろう・歩こう会（木曽三川公園東海広場）を開催し、気軽に楽しめるジョギング（2・4・10km）とウォーキング（2・4km）を実施する予定である。 バランスボール・スポーツ吹き矢（あまスポーツクラブ事業）など、各種スポーツの教室を通じて仲間づくりの場を提供した。	七宝総合体育館で、ボクシングエクササイズ教室、肩こり・腰痛ケアストレッチ教室を開催し、各種スポーツの基本的な運動を実施する。 木曽三川公園東海広場で市民走ろう・歩こう会を開催し、気軽に楽しめるジョギング（2・4・10km）とウォーキング（2・4km）を実施する。 バランスボール・スポーツ吹き矢（あまスポーツクラブ事業）など、各種スポーツの教室を通じて仲間づくりの場を提供する。	スポーツ課
			「バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座」を実施した。 日時：5月9日・23日、6月6日・20日、7月4日（木） 午後10時30分～正午 会場：七宝公民館 2階講堂 対象：一般	「バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座」等の体を動かす講座を実施する。	生涯学習課
			運動不足になりがちな世代に自分に合った運動を見つけるための方法の1つとして「ウォーキングあま（6回 139名）」を実施した。また年間予定表で生涯学習課講座を周知した。 「いきいき体操」については七宝保健センターで実施し、運動する機会を提供した。（114回 881人） “Mr. あーまん”による家庭で気軽にできる運動の動画配信を3回（YouTube2回、Instagram1回）行った。	運動不足になりがちな世代に自分に合った運動を見つけるための方法の1つとして「ウォーキングあま」を実施する。また年間予定表で生涯学習課講座を周知する。 「いきいき体操」については七宝保健センターで実施し、運動する機会を提供する。 家庭で気軽にできる運動の動画配信を行う。	健康推進課
	43	若い世代が運動のきっかけづくりとなる参加しやすい教室（託児付教室）を実施する。	親子体操教室など、若い世代が気軽に参加できる講座を実施した。	親子体操教室など、若い世代が気軽に参加できる講座を実施する。	スポーツ課
			託児付きの教室や、母と児が一緒に参加できるバランスボール使った運動教室などの市の事業を市公式ウェブサイトや年間予定表などで周知し、運動を習慣化するためのきっかけづくりを行った。	託児付きの教室や、母と児が一緒に参加できるバランスボール使った運動教室などの市の事業を市公式ウェブサイトや年間予定表などで周知し、運動を習慣化するためのきっかけづくりを行う。	健康推進課
	44	運動に関する事業等について、市民にわかりやすく、魅力的な情報を提供する。	年間予定表、広報、市公式ウェブサイトにて運動に関する教室の情報を掲載し、周知した。 “Mr. あーまん”による運動動画を計3回、InstagramやYouTubeを用いて配信した。 10/10投稿「森が丘公園 運動遊具の使い方」（Instagram） 10/9投稿「ウォーキングの正しい姿勢+リアルウォークPR」（Instagram・YouTube：再生回数383回） 11/11投稿「1日のはじまりに！代謝アップ+ストレッチ」（Instagram・YouTube：再生回数240回） 「日常生活の中でできる運動」の運動動画は、1/17に投稿を予定している。	年間予定表、広報、市公式ウェブサイトにて運動に関する教室の情報を掲載し、引き続き周知する。 “Mr. あーまん”による家庭で気軽にできる運動の動画を、ターゲットや目的を明確にし、Instagram、YouTubeを用いて配信を行う。既に投稿済みの過去動画も多くある為、動画作成だけでなく、啓発にも力を入れていく。	健康推進課
	45	健診結果をわかりやすく説明し、運動の必要性を伝える。	健康相談等で、運動の必要な方に対し必要性を伝えた。 「いきいき体操」「あま体操」「Mr. あーまん」などの動画配信を周知した。	健康相談等で、運動の必要な方に対し必要性を伝えるとともに、「いきいき体操」や、「あま体操」「Mr. あーまん」などの動画配信をチラシ等を活用し、周知する。	健康推進課
	46	市の運動施設について、利用者増加を図る。	各体育施設及び学校開放施設の設備・環境を整え、適宜修繕を行い利用促進を図った。	各体育施設及び学校開放施設の設備・環境を整え、適宜修繕を行うことで利用促進を図る。	スポーツ課
	47	民間企業と協力して、運動の推進を図る。	6月上旬に健康宣言チャレンジ事業所136か所にあま市の健康づくりメニューを周知し、申し込みのあった8事業所へ健康に関する情報提供を行った。また、10月11日に出前講座を実施した。	協会けんぽ加入の健康宣言事業所に対し、Wチャレンジ事業の出前講座や市の運動に関する事業を周知する。	健康推進課
	48	運動グループ活動や活き生き推進隊の活動を支援する。	活き生き推進隊が「あま体操」の啓発活動をするための助言や指導を行い、あまつりやあまのわ、サロン会場などでの活動の場を設ける。（2回） 活き生き推進隊主体のミニウォーキングを4月・11月に実施した。	活き生き推進隊が「あま体操」の啓発活動をするための助言や指導を行い、あまつりやあまのわ、サロン会場などでの活動の場を設ける。 活き生き推進隊主体のミニウォーキングを実施する。	健康推進課
	49	市民のニーズに合わせた運動について検討、実施する。	5/12(日)に甚目寺総合体育館野外ステージ、5/26(日)に美和中学校運動場でラジオ体操の集いを開催した。6/9（日）の市役所駐車場は雨天中止となった。 そして、トレーニング室を利用する市民に、器具の正しい使い方などを目的として「初心者向け筋力アップトレーニング講習」を実施した。 また、10/20(日)に岐阜県郡上市周辺において市民歩け歩け会を開催した。令和7年1月26日（日）に木曽三川公演で市民走ろう・歩こう会を開催予定。 ・市民ラジオ体操の集い 参加人数303人 ・初心者向け筋力アップトレーニング講習 参加人数116人 ・市民歩け歩け会 参加人数121人 ・市民走ろう・歩こう会 参加人数160人	・「市民ラジオ体操の集い」 本庁舎駐車場、美和中学校運動場、甚目寺総合体育館野外ステージで開催する。 ・「初心者向け筋力アップトレーニング講習」 七宝総合体育館で開催する。 ・「市民歩け歩け会」を近隣で開催する。 ・「市民走ろう歩こう会」を木曽三川公演で開催する。	スポーツ課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
高 齢 期	50	介護予防教室を積極的に啓発し、参加者の増加を図る。	教室名 「筋力アップ体操教室」 開催日 毎月第4木曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に体を動かす講座を開催。 参加者 97人	教室名 「筋力アップ体操教室」 開催日 毎月第4木曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に体を動かす講座を開催。 定 員 20人	人権推進課
			教室名 「高齢者健康体操教室」 開催日 毎月第1・2木曜日 場 所 あま市甚目寺老人福祉センター 内 容 一般介護予防事業として、高齢者を対象に健康体操講座を開催。 参加者 32人	教室名 「高齢者健康体操教室」 開催日 毎月第1・2木曜日 場 所 あま市甚目寺老人福祉センター 内 容 一般介護予防事業として、高齢者を対象に健康体操講座を開催。 定 員 20人	
			高齢者が自らの体力、健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活が送れることを目的に、甚目寺総合体育館において「はつらつ健康教室～シニア運動教室～（スポーツ教室）」を開催した。 ・参加対象者60歳以上の一般 全8回 参加人数14人	高齢者が自らの体力、健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活が送れることを目的に、甚目寺総合体育館において「はつらつ健康教室～シニア運動教室～（スポーツ教室）」を開催する。	スポーツ課
			運動不足の解消を目的として、「バランスボール運動」や「健康体操」講座を、シルバーカレッジの授業として実施した。 「バランスボールで有酸素運動」 日時：6月25日（火）午前9時30分～午後0時30分 会場：美和文化会館多目的ホールABC 受講者数：36名 「運動不足を解消！すぐできる健康体操」 日時：12月4日（水）午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 受講者数：35名	運動不足の解消を目的として、「バランスボール運動」や「健康体操」講座を、シルバーカレッジの授業として実施する。 「バランスボールで有酸素運動」 日時：7月5日（土）午前9時30分～午後0時30分 会場：美和文化会館多目的ホールABC 対象：令和7年度シルバーカレッジ受講生 「運動不足を解消！すぐできる健康体操」 日時：12月6日（土）午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 対象：令和7年度シルバーカレッジ受講生	生涯学習課
			ウォーキング、ラジオ体操、健康体操、モリ森たいそう（筋力アップ体操）、中国健康体操（意身功・太極拳）を行い、高齢者の健康づくりを支援している。	ウォーキング、ラジオ体操、健康体操、モリ森たいそう（筋力アップ体操）、中国健康体操（意身功・太極拳）を行い、高齢者の健康づくりを支援する。	子ども福祉課
			認知症サポーター養成講座実施回数 8回 （参加者 786人） 認知症予防講座実施回数 4回（参加者 77人）	認知症サポーター養成講座・認知症予防講座を実施し認知症の理解と予防を図る。	高齢福祉課
			高齢者健康増進事業「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」を年間予定表、広報あま、健康相談等で周知した。	高齢者健康増進事業「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」を年間予定表、広報あま、健康相談等で周知する。	健康推進課
	51	高齢者の集まるイベントを活用して介護予防の啓発を行う。	一体的事業（1回18人）や出前講座（14回328人）、サロンなど通いの場でフレイル予防講話を実施した。	一体的事業や出前講座、サロンなど通いの場でフレイル予防講話を行う。	健康推進課
	52	介護予防事業を勧奨し、要介護状態を予防する。	5月下旬13,938名にシニアいきいきアンケート発送。 回答 11,004名（回答率78.9%） 8月下旬 熱中症啓発通知（601名） 10月下旬 活力新聞・包括ケアシステム講演会チラシを送付（3,336名）	70歳以上の方（要介護・要支援認定者は除く）を対象にシニアいきいきアンケートを実施する。 生活機能低下と判定された方に予防方法について周知する。	高齢福祉課
			51番のとおり	51番のとおり	健康推進課
	53	ロコモティブシンドロームについての知識を普及・啓発する。	出前講座で知識の普及、啓発を実施した。 出前講座：4月24日（水）参加者18人 12月13日（金）参加者20人 10、11月に“Mr. あーまん”による動画配信をした。	出前講座にて、ロコモティブシンドロームについての知識の普及、啓発を行う。	健康推進課
	54	地域の活動の場と、安全で取り組みやすい環境整備に努める。	甚目寺テニスコート人工芝生化新設事業工事と森グラウンドトイレ整備工事を行った。 体育館、グラウンド、テニスコート（スポーツ施設）の整備及び老朽化した備品等を更新した。（主な整備・備品更新）	体育館、グラウンド、テニスコート（スポーツ施設）の整備及び老朽化した備品等を更新する。	スポーツ課
	55	運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	48番のとおり	48番のとおり	健康推進課

(3) こころの健康づくり

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	56	望ましい生活習慣をつくるための知識を普及・啓発する。	母子健康手帳交付時、パパママ教室、妊産婦訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、健康診査等で、望ましい生活習慣として、家族とのコミュニケーションや休養の必要性や知識について啓発した。子育て相談、電話相談等で母親や家族から相談があった際は随時対応した。	母子健康手帳交付時、パパママ教室、妊産婦訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、健康診査等で、望ましい生活習慣として、家族とのコミュニケーションや休養の必要性や知識について啓発する。子育て相談、電話相談等で母親や家族から相談があった際は随時対応する。	健康推進課
	57	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	子育てのストレス解消やリフレッシュのため、必要に応じ、赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談等で、子育て支援センター・子育てコンシェルジュを紹介し、利用を促した。	子育てのストレス解消のため、必要に応じ、赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談等で、子育て支援センター・子育てコンシェルジュを紹介し、利用を促す。	健康推進課
	58	妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう、切れ目のない相談体制を充実させる。	乳児健康診査、ふたごちゃん・みつごちゃん交流会、パパママ教室、子育て相談において子育てコンシェルジュについて周知し、必要な保護者へは関係機関と連携し支援した。また、主に産後の母に対し不安や悩みを抱え込まないように子育てコンシェルジュによる窓口や電話での相談を行った。	乳児健康診査、ふたごちゃん・みつごちゃん交流会、パパママ教室、子育て相談において子育てコンシェルジュについて周知し、必要な保護者へは関係機関と連携し支援をおこなう。また、主に産後の母に対し不安や悩みを抱え込まないように子育てコンシェルジュによる窓口や電話での相談を行っていく。	保育課
			母子健康手帳交付（434人）時から丁寧に面接、スクリーニングを行い、統括支援員、コーディネーター間で方針を検討し、他課と共有した方がいようなケースは子育てコンシェルジュや子ども福祉課と定期的（毎月1回）に要支援検討会にて方針を決めた。コンシェルジュに乳児健診や子育て相談、パパママ教室に参加してもらい、つながる機会を設け、母が妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう母子保健コーディネーターや地区担当保健師が電話や訪問で相談を行った。	母子健康手帳交付時から丁寧に面接、スクリーニングを行い、コーディネーター間で方針を検討し、他課と共有した方がいようなケースは子育てコンシェルジュや子ども福祉課と定期的（月1回ほど）に要支援検討会にて方針を決める。コンシェルジュに3～4か月児健診や子育て相談、パパママ教室に参加してもらい、つながる機会を設け、母が妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう母子保健コーディネーターや地区担当保健師が電話や訪問で相談を行う。	健康推進課
	59	子どもの健やかなこころと体を育てるための知識を普及・啓発する。	親子で遊ぼう！歯っぴい教室（7回54人）において理学療法士の親子ふれあい体操を実施した。	親子で遊ぼう！歯っぴい教室で保育士によるふれあい遊びを取り入れることで親子のコミュニケーション、子どもの健やかな成長を促す啓発をする。	健康推進課
	60	母親が育児の不安や負担を抱え込まないよう、母親同士の交流を推進する。	「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座」等、親子参加型の講座を実施した。 日時：5月8日（水）午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：1～2歳児1名とその家族1名	「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座」等、親子参加型の講座を実施する。	生涯学習課
			ふたごちゃんみつごちゃん交流会を6月（6人）と10月（5人）に開催し、情報交換と不安軽減に繋がるような場を設けた。	ふたごちゃんみつごちゃん交流会にて母親が育児の不安や負担を抱え込まないよう、母親同士の交流を促す。	健康推進課
	61	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	母子健康手帳を交付した434人やパパママ教室参加者174人、こんにちは赤ちゃん訪問を実施した377件、健診等において、育児や病気に対する不安な気持ちを傾聴し、必要に応じて相談機関を紹介、周知した。	母子健康手帳交付時やパパママ教室（年12回）、こんにちは赤ちゃん訪問、健診等において、育児や病気に対する不安な気持ちを傾聴し、必要に応じて相談機関を紹介、周知する。	健康推進課
児 童 期 ・ 思 春 期	62	こころの健康・休養について教育の充実を図る。	小学5年生保健「心の健康」、中学1年生保健「心と体のかかわり」で学習した。	小学5年生保健「心の健康」、中学1年生保健「心と体のかかわり」で学習する。	学校教育課
	63	親子の絆を深める家庭環境づくりを支援する。	中学家庭科「家族と家庭と地域」、道徳「家族愛」で学習した。	中学家庭科「家族と家庭と地域」、道徳「家族愛」で学習する。	学校教育課
	64	質のよい睡眠や休養を取るための、正しい知識の普及・啓発を図る。	中学2年保健「休養・睡眠と健康」で学習した。	中学2年保健「休養・睡眠と健康」で学習する。	学校教育課
	65	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	ニートや引きこもり、不登校などの社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者に関する相談を行う。 窓口名称：あま市子ども・若者相談窓口 開設日：月曜日から金曜日（祝休日・年末年始を除く） 開設時間：午前8時30分から午後5時15分まで 開設場所：あま市役所 社会福祉課 対象：あま市に居住する概ね15歳から39歳までの子ども・若者及びその家族 相談状況：相談人数5人 延べ相談件数19回	ニートや引きこもり、不登校などの社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者に関する相談を行う。 窓口名称：あま市子ども・若者相談窓口 開設日：月曜日から金曜日（祝休日・年末年始を除く） 開設時間：午前8時30分から午後5時15分まで 開設場所：あま市役所 社会福祉課 対象：あま市に居住する概ね15歳から39歳までの子ども・若者及びその家族	社会福祉課
			5月末に「あま市教育相談」のお知らせを配布した。	5月末に「あま市教育相談」のお知らせを配布する。	学校教育課
			作成した媒体等を利用して、市内全中学校・小学校でSOS出し方教育を実施するよう市内小中学校養護教諭に依頼した。	市内小中学校養護教諭により、作成した媒体等を利用して、市内全中学校・小学校でSOS出し方教育を実施する。	健康推進課
			中学校で統一したSOSの出し方の教育を実施するよう促した。小学校では各校でそれぞれの健康教育を実施しており、小学校用の統一した健康教育案の作成を支援した。	中学校で統一したSOSの出し方の教育を実施するよう促す。小学校では各校でそれぞれの健康教育を実施しており、小学校用の統一した健康教育案の作成を支援する。	学校教育課
青 年 期 ・ 壮 年 期	66	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	9月号広報に困った時の相談窓口の一覧を全戸配布。9月の自殺予防啓発週間には街頭啓発（綿棒&絆創膏とウェットティッシュ400個）を実施した。10月「あまのわ」では、86人にアルコールパッチテストを実施し、自殺予防啓発ファイルを130人に配布した。	9月の自殺予防啓発週間に街頭啓発予定。10月「あまのわ」において自殺対策推進事業の啓発を行う。3月の自殺対策強化月間に街頭啓発や市内3図書施設で啓発予定。	健康推進課
	67	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する。	市公式ウェブサイト に心の健康や睡眠について等の市公式ウェブサイトの掲載内容を見直し、追加・更新について検討していく。	市公式ウェブサイト に心の健康や睡眠について等の市公式ウェブサイトの掲載内容を見直し、追加・更新していく。	健康推進課
	68	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	Mr. あーまんによる「健康遊具」「ウォーキング」「ストレッチ」「日常生活でできる運動」の動画をInstagram、YouTubeを用いて配信し、市公式LINE及びメール配信サービスを利用し周知した。	ストレス解消・リフレッシュするための動画配信をし、市公式LINE及びメール配信サービスやInstagram、アプリ、あま市公式ウェブサイトなどを利用し周知していく。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
青年期・壮年期	69	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	民生委員児童委員協議会に計9回参加した。 ゲートキーパー養成講座を計10回開講済み。（6月活き生き推進隊11名、8月自殺対策部会員12名、9月新入職員21名、11月PTA・社協・サロン61名、12月出前講座・安心支え合いネットワーク事業70名、計175名） 市職員向けにゲートキーパー養成講座eラーニングを開講し、保育士を除く職員270名（48％）が受講済み。 2月にはあま市内民生委員児童委員を対象にゲートキーパー養成講座のフォローアップ研修を実施予定。 「あま安心ダイヤル」を継続して開設し、累計658件（4～10月分）の相談があった。 精神相談会を開催し、個別相談を4名（6月2名、10月2名）実施した。いつでも気軽に相談できるようこころの相談室は随時保健師で対応し、必要時臨床心理士への相談支援に繋いだ。	民生委員児童委員協議会に年4回以上参加する。 2月にはあま市内民生委員児童委員を対象にゲートキーパー養成講座のフォローアップ研修を実施予定。 「あま安心ダイヤル」を継続して開設。 いつでも気軽に相談できるよう、臨床心理士によるこころの相談室を随時開催を継続する。精神科医による相談会を継続して実施予定。	健康推進課
	70	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	広報あま、年間予定表や市公式ウェブサイトに掲載し、ストレス解消法につながる運動教室等を継続して周知した。 Mr. あーまんによる運動動画をInstagram・YouTubeを活用し、配信した。	広報あま、年間予定表や市公式ウェブサイトにおいて、ストレス解消法につながる運動教室等を継続して周知する。Mr. あーまん等による動画配信を継続する。動画作成だけでなく、運動啓発も重視し行っていく。	健康推進課
	71	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	9月号広報で「困った時の相談窓口」を全戸配布し、住民全体に様々な悩みへの相談機関の周知を行った。 定期的にあま市公式LINE、メール配信サービスにより心の悩みや病気に関する相談機関や情報などを周知した。（毎月：いきづらびっと、9月：自殺予防週間・啓発、10月：睡眠について）	あま市転入者に対し「困った時の相談窓口」を全戸配布し、住民全体に様々な悩みへの相談機関の周知を行う。 定期的にあま市公式LINE、メール配信サービスにより心の悩みや病気に関する相談機関や情報などを周知する。	健康推進課
高齢期	72	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	高齢者総合相談窓口として実施した。	高齢者総合相談窓口として実施する。	高齢福祉課
	73	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する	出前講座のゲートキーパー養成講座でリーフレットを配布し講話内容に含め説明を行った。リーフレット配布数：119部（快眠で心身を健康に）	出前講座のゲートキーパー養成講座でリーフレット（快眠で心身を健康に）を配布し講話内容に含め説明を行う。	健康推進課
	74	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	介護者のつどい実施回数 18回 ふれあいカフェ実施回数 131回	介護者のつどい、ふれあい（認知症）カフェを実施する。	高齢福祉課
			中国健康体操（意身功・太極拳）、お楽しみ会（脳トレなどのゲーム、お話し会）を実施している。	中国健康体操（意身功・太極拳）、お楽しみ会（脳トレなどのゲーム、お話し会）を実施する。	子ども福祉課
			ストレスを解消・リフレッシュするための支援として、ワクワクからだ教室（429人）いきいき体操（881人）を継続して実施した。	ストレスを解消・リフレッシュするための支援として、ワクワクからだ教室、いきいき体操を継続して行う。	健康推進課
	75	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	69番のとおり	69番のとおり	健康推進課
	76	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	老人クラブ活動やシルバー人材センターでの活動を通じて高齢者に対する生きがいづくりの支援を行った。	老人クラブ活動やシルバー人材センターでの活動を通じて高齢者に対する生きがいづくりの支援を行う。	高齢福祉課
	77	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	各種教室や通いの場、市イベント等で相談窓口リーフレット配布を継続。身近な相談機関や心の健康を保つコツ、うつ病のサインなどについて、市公式ウェブサイトや公式LINE等で広く周知啓発した。	各種教室や通いの場、市イベント等で相談窓口リーフレット配布を継続。身近な相談機関や心の健康を保つコツ、うつ病のサインなどについて、市公式ウェブサイトや公式LINE等で広く周知啓発する。	健康推進課
	78	地域とのつながりが持てるよう支援する。	相談者に対して介護予防教室、サロン等の情報提供を行った。 老人クラブ活動の支援を実施した。	相談者に対して介護予防教室、サロン等の情報提供を行う。老人クラブ活動の支援を実施する。	高齢福祉課
			地域のサロンの紹介や高齢者健康増進事業の周知、参加勧奨とともに、サロン等に出向いて地域とのつながりの必要性を説明した。	地域のサロンの紹介や高齢者健康増進事業の周知、参加勧奨とともに、サロン等に出向いて地域とのつながりの必要性を説明する。	健康推進課
	79	シルバーカレッジで生涯学習を行いながら仲間づくりの支援を行う。	高齢者に学習と交流の場を提供することを目的として、シルバーカレッジ（全21回講座）を実施した。※12月末現在で、19回講座を実施済み。 期間：6月8日（土）から令和7年1月25日（土）まで 会場：シルバーカレッジ教室ほか 対象：あま市在住又は在勤の60歳以上の方 受講者数：35名（12月末現在）	高齢者に学習と交流の場を提供することを目的として、シルバーカレッジ（全22回講座）を実施する。 期間：6月7日（土）又は6月14日（土）から令和8年1月31日（土）まで 会場：シルバーカレッジ教室ほか 対象：あま市在住又は在勤の60歳以上の方 定員：36名	生涯学習課

（４）たばこ

妊娠期・乳幼児期	80	母子健康手帳交付時の喫煙状況を確認し、喫煙している妊婦とその家族に対し、個別に指導・支援する。	母子健康手帳交付（434人）時に喫煙者に対し、禁煙、受動喫煙についての説明を行い、実現可能な対処法を提案・共有する。また産後に再喫煙した者に対し、その原因、対処方法等を検証するために、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診において喫煙率の経過を追った。また、受動喫煙について指導した。	母子健康手帳交付時に喫煙者に対し、禁煙、受動喫煙についての説明を行い、実現可能な対処法を提案・共有する。また産後に再喫煙した者に対し、その原因、対処方法等を検証するために、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診において喫煙率の経過を追った。また、受動喫煙について指導する。	健康推進課
	81	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく啓発する。	パパママ教室にてたばこについての内容を含む資料を174人に配布し、助産師による講話を行った。	パパママ教室にてたばこについての内容を含む資料を配布し、助産師による講話を行う。	健康推進課
	82	家庭訪問、乳幼児健診等の機会にたばこの副流煙の影響について知識を普及する。	こんにちは赤ちゃん訪問（377件）にて受動喫煙防止のリーフレットを配布し、保護者の喫煙が及ぼす影響について説明する。妊娠中に喫煙していた産婦については、吸ってしまう理由や、止める方法を共有した。	こんにちは赤ちゃん訪問にて受動喫煙防止のリーフレットを配布し、保護者の喫煙が及ぼす影響について説明する。妊娠中に喫煙していた産婦については、吸ってしまう理由や、止める方法を共有していく。	健康推進課
			防煙教室を介し、たばこの影響について知識を普及していく。市内保育園（9園）、幼稚園（4園）及びこども園（2園）の年長児（計571人）を対象に実施した。	防煙教室を介し、たばこの影響について知識を普及していく。市内保育園、幼稚園及びこども園（2園）継続実施予定。	健康推進課
	83	禁煙外来を周知する。	乳幼児健診にて保護者の喫煙に関する注意喚起を行い、禁煙を希望する保護者に禁煙外来・禁煙サポート薬局が記載されているチラシを配布し情報提供した（56人）。	市公式ウェブサイトにて禁煙外来・禁煙相談についての情報を引き続き掲載する。乳幼児健診にて保護者の喫煙に関する注意喚起を行い、禁煙を希望する保護者には市内の禁煙外来・禁煙サポート薬局が記載されているチラシにて情報提供を行う。	健康推進課
	84	公共施設での分煙・禁煙を推進する。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示した。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示する。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
児童期・思春期	85	学校は、児童生徒とその保護者に対して禁煙教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習した。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習する。	学校教育課
	86	目にする機会が多い場所へポスターなどを掲示し、啓発する。	愛知県教育委員会から配布されるポスターを各学校へ配布した。	愛知県教育委員会から配布されるポスターを各学校へ配布する。	学校教育課
	87	子どもに対し、たばこの害を周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習した。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習した。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習する。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習する。	学校教育課
青年期・壮年期・高齢期	88	禁煙成功者の体験談を広報に掲載する。	12月末現在、禁煙成功者の体験が得られていないため掲載していない。今後、体験を得ることができれば、今後掲載していく。	禁煙成功者による体験を得ることができれば、今後市公式ウェブサイトや広報に掲載していく。	健康推進課
	89	世界禁煙デーに合わせて禁煙週間を周知し、推進する。	市公式ウェブサイトや5月号広報で受動喫煙について掲載。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成し、乳幼児健診等で喫煙者に対し配布した。（56人）	市公式ウェブサイトや広報で受動喫煙について掲載。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成し、乳幼児健診等で喫煙者に対し配布していく。	健康推進課
	90	たばこの害と疾病との関係についての教育の実施及びポスターを掲示する。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示した。また市内の健康宣言事業所の8事業所にタバコの害についてのリーフレットを配布した。肺がん検診来所者で喫煙者（84人）に禁煙指導を実施した。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示する。	健康推進課
	91	喫煙が及ぼす影響やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について周知する。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してCOPDのリーフレットを配布し、影響について啓発した（102人）。また禁煙を考えている方に禁煙外来リーフレットを配布した（84人）	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してリーフレットを配布し影響について啓発していく。	健康推進課
	92	禁煙希望者へ、禁煙治療ができる医療機関等の情報を提供する。	市公式ウェブサイトや広報、公共施設等にポスターを掲載し、禁煙相談を実施していることを周知した。また、乳幼児健診や肺がん検診にて喫煙者で禁煙希望者がいれば医療機関等の情報提供をした。（乳幼児健診56人、肺がん検診84人）	市公式ウェブサイト掲載や広報で禁煙相談を実施していることを周知する。乳幼児健診や肺がん検診にて喫煙者で禁煙希望者がいれば医療機関等の情報提供を行っていく。	健康推進課
	93	たばこに関する講演会を実施する。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時にリーフレットを配布し影響ついて啓発、禁煙を考えている方に禁煙外来リーフレットを配付する等個別指導を実施した。（84人）	がん検診受診者への個別指導、出前講座に力を入れていく。	健康推進課

（5）アルコール

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
乳妊 幼 娠 児 期 ・	94	母子健康手帳交付時の飲酒状況を確認し、飲酒している妊婦とその家族に対し、個別に支援する。	母子健康手帳交付（434人）時に個別面接を実施し、母子健康手帳、副読本等をもとに、飲酒による胎児への影響の正しい知識を周知し、飲酒をやめる方法について一緒に考えた。	母子健康手帳交付時に個別面接を実施し、母子健康手帳、副読本等をもとに、飲酒による胎児への影響の正しい知識を周知し、飲酒をやめる方法について一緒に考える。	健康推進課
	95	マタニティ教室等で飲酒が妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく周知する。	パパママ教室の参加者（174人）に対して飲酒についての内容を含む資料を配布し、助産師による講話を行った。	パパママ教室（年12回）の参加者対して飲酒についての内容を含む資料を配布し、助産師による講話を行う。	健康推進課
児童期・思春期	96	未成年者に飲酒が及ぼす身体への影響について周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習した。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習した。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習する。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習する。	学校教育課
青年期・壮年期・高齢期	97	適正飲酒量を周知する。	1歳6か月児健診の保護者に対し適正飲酒量を周知している。広報11月号で適正飲酒、アルコール依存症について掲載した。1月「はたちの式」において、適正飲酒量の周知のためのリーフレットを購入し配布予定。	1歳6か月児健診の保護者に対し適正飲酒量を周知する。広報11月号で適正飲酒、アルコール依存症について掲載する。1月「はたちの式」において、適正飲酒量の周知のためのリーフレットを配布する。	健康推進課
	98	多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響についての正しい知識の普及・啓発をする。	広報11月号にて、過度な飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響について、アルコール依存症についての正しい知識を啓発した。	広報11月号にて、過度な飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響について、アルコール依存症についての正しい知識を啓発する。	健康推進課

（６）健康管理

ライフ ステージ	番号	第２次計画の取組項目	令和６年度の取組状況（12月末現在）	令和７年度実施計画	関係課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	99	妊産婦・乳幼児健康診査の受診を勧奨する。	母子健康手帳交付（434人）時に、妊婦健診の必要性を説明した。こんにちは赤ちゃん訪問時に乳幼児健診について説明し、対象者に個別で通知している。未受診者（14人）には、電話や不在票で個別勧奨をしており、必要時、訪問や面談にて対応した。	母子健康手帳交付時に、妊婦健診の必要性を説明する。乳幼児健診については、こんにちは赤ちゃん訪問時に説明し、対象者に個別通知を行う。欠席者には、地区担当保健師より電話や訪問、面談にて対応する。	健康推進課
	100	健康診査、相談、訪問指導など母子保健事業の効果的实施と利用促進を図る。	あま市母子保健事業年間予定表の全戸配布、市公式ウェブサイト、子育てアプリにて啓発した。パパママ教室、こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診、子育て相談、個別相談等で心身の発達確認の必要性を伝え、必要時、継続フォローや専門機関に繋げた。乳幼児健診未受診者（14人）の全数把握を行い、個別で勧奨・訪問等の対応をした。	あま市母子保健事業年間予定表の全戸配布、市公式ウェブサイト、子育てアプリにて啓発する。パパママ教室、こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診、子育て相談、個別相談等で心身の発達確認の必要性を伝え、必要時、継続フォローや専門機関に繋げる。健診未受診者には、個別で勧奨・訪問等の対応を行っていく。	健康推進課
	101	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診、電話相談、窓口相談、個別で接種勧奨を行う。日本脳炎１期末接種者と麻しん及び風しんワクチン２期末接種者には、個別で通知を行い勧奨した。	こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診、電話相談、窓口相談、個別で接種勧奨を行う。日本脳炎１期末接種者と麻しん及び風しんワクチン２期末接種者には、個別で通知を行い勧奨する。	健康推進課
	102	かかりつけ医を持つよう啓発する。	こんにちは赤ちゃん訪問、子育て相談、乳幼児健診、個別相談等でかかりつけ医の必要性について説明を行った。	こんにちは赤ちゃん訪問、子育て相談、乳幼児健診、個別相談等でかかりつけ医の必要性について説明を行う。	健康推進課
	103	妊娠期からの切れ目ない子育て支援を通して、健康管理を支援する。	母子健康手帳交付（434人）時に面談にて情報収集を行い、スクリーニングを実施する。要支援妊婦には適宜パパママ教室、電話相談、面談、訪問を勧奨し、保健センターとの関係づくりを行った。子育てに対する不安やストレスを軽減するため、個別支援計画に基づき切れ目のない支援を継続し、適宜支援計画を修正している。	母子健康手帳交付時に面談にて情報収集を行い、スクリーニングを実施する。要支援妊婦には適宜パパママ教室、電話相談、面談、訪問を勧奨し、保健センターとの関係づくりを行う。子育てに対する不安やストレスを軽減するため、個別支援計画に基づき切れ目のない支援を継続し、適宜支援計画を修正する。	健康推進課
	104	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	毎月、要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、要保護児童や要支援児童、特定妊婦について支援方針等を協議した。必要に応じて個別ケース検討会議を開催した。 乳幼児健診や訪問等にて医療ネグレクト児の有無を確認し、必要に応じて関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援している。	市内医療機関・海部児童・障害者相談センター、児童発達支援センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議等で協議して支援を展開する。 乳幼児健診や訪問等にて医療ネグレクト児の有無を確認し、必要に応じて関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援する	子ども福祉課 健康推進課
児 童 期 ・ 思 春 期	105	自分の健康を自分で守ることができるよう、適正体重を周知するなど、正しい知識を学ぶ機会を提供する。	小学校：肥満傾向の子について個別に対応した。 中学校：身体測定時にＢＭＩをつかって適正体重を学ばせた。	小学校：肥満傾向の子について個別に対応する。 中学校：身体測定時にＢＭＩをつかって適正体重を学ばせる。	学校教育課
	106	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	日本脳炎１期末接種者455名については6月に、MR2期末接種者224名および2種混合予防接種未接種者403名については12月に個別で接種勧奨ハガキを郵送した。	MR2期、日本脳炎１期、２種混合ワクチンの未接種者には、個別で接種勧奨を行う。	健康推進課
	107	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	毎月、要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、要保護児童や要支援児童、特定妊婦について支援方針等を協議した。必要に応じて個別ケース検討会議を開催した。 市内医療機関・海部児童・障害者相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。	市内医療機関・海部児童・障害者相談センター、児童発達支援センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応する。	子ども福祉課 学校教育課
	108	がん予防を含む、生活習慣病の健康教育を行う。	104番のとおり	104番のとおり	健康推進課
			小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習した。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で学習する。	学校教育課
青 年 期 ・ 壮 年 期 ・ 高 齢 期	109	健康教育、イベント、広報等を通じて、各種健（検）診の目的・重要性等をさらに市民へ周知する。	4月に年間予定表、5月にがん検診ガイドを各戸配布、がん検診受診券・無料クーポン券に令和3年度のがん発見率を記載して、5月に個別通知し、受診勧奨を行った。また、健康相談では、生き生き推進隊によるがん検診の啓発を実施（219人）。10月のあまのわではがん予防リーフレットを130部配布し啓発した。	4月に年間予定表、中学校で保護者に啓発、5月にがん検診ガイドを各戸配布、がん検診受診券・無料クーポン券に令和4年度のがん発見率を記載して、5月に個別通知し、受診勧奨を行う。また、健康相談では、生き生き推進隊によるがん検診の啓発を実施する。10月のあまのわではがん予防リーフレットを配布し啓発する。	健康推進課
	110	がん検診受診方法を、広報・ポスターなどを用いてわかりやすく周知し、受診の啓発をする。	がん検診受診券を個別通知し受診勧奨を行った。1歳6か月児健診対象（448人）の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発した。3保健センター・医療機関・市内郵便局にがん検診ポスターを掲示した。乳がん検診受診者に乳がん検診啓発リーフレットを配布した。市内中学校5校のPTA総会や授業参観に来所した保護者838人にかん検診を啓発した。	がん検診受診券を個別通知し受診勧奨を行う。1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発する。3保健センター・医療機関・市内郵便局にがん検診ポスターを掲示する。乳がん検診受診者に乳がん検診啓発リーフレットを配布する。市内中学校5校のPTA総会や授業参観に来所した保護者にかん検診を啓発する。	健康推進課
	111	個別通知を実施し、若い年齢層の受診者の増加を図る。	乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者890人に対し12月に勧奨通知を送付し、再度受診勧奨を行った。	乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者に対し12月に勧奨通知を送付し、再度受診勧奨を行う。	健康推進課
	112	早期発見・早期治療の重要性について、啓発する。	8月号広報にてがん検診の必要性を周知した。 1歳6か月児健診対象（448人）の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発した。	8月号広報にてがん検診の必要性を周知する。 1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発する。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
青年期・壮年期・高齢期	113	望ましい生活習慣（栄養・運動）の実践を支援する。	運動教室「ワクワクからだ教室(27回429人)」「いきいき体操(114回881人)」、一体的事業フレイル予防教室（1回18人）を実施した。	運動教室「ワクワクからだ教室」「いきいき体操」、一体的事業フレイル予防教室を実施する。	健康推進課
	114	精密検査対象者への受診勧奨を強化する。	各医療機関と連携し、要精密検査者の精密検査未受診者に対して、検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう、2月に再通知や個別勧奨を実施する予定。	各医療機関と連携し、要精密検査者の精密検査未受診者に対して、検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう、1月に再通知や個別勧奨を実施する。	健康推進課
	115	がんに関する講演会を実施する。	がんの早期発見、早期治療のためにがん検診の必要性を周知啓発する手段として、がんに関する講演会を実施することよりも、広報、市公式ウェブサイト、市公式ライン、及びメール配信サービスを利用した情報発信が効果的であると捉え、広報では8月号でがん検診の必要性を周知し、市公式ウェブサイト、市公式LINE及びメール配信サービスでは、随時がん検診の必要性を周知した。	講演会という形式に捉われることなく、個人に対する情報発信として、広報・年間予定表・勧奨通知等の表記を工夫して、がん検診の必要性を周知していく。また、その他のがんに関する情報についても、随時、市公式ウェブサイト、市公式LINE及びメール配信サービスにて周知していく。	健康推進課
	116	がん予防を含む生活習慣病の健康教育を行う。	がん予防を含む生活習慣病についての個別相談を随時実施する。がん検診（禁煙指導84人）、出前講座（14回328人）等においても、生活習慣病予防における個別指導や健康教育を行った。	がん予防を含む生活習慣病についての個別相談を随時実施する。がん検診、出前講座等においても、生活習慣病予防における個別指導や健康教育を行う。	健康推進課
	117	適正体重を周知する。	生き生き推進隊とともに、健康相談において体組成計を使用し、適正体重について周知した。（10回 86人）	健康相談において体組成計を使用し、適正体重を周知する。	健康推進課
	118	生活習慣病予防のために20歳代、30歳代からの生活習慣改善に向けた情報提供、健康教育、健（検）診の勧奨等に一層取り組む。	乳幼児健診や30・35歳健診等において、生活習慣改善に向けた情報提供や個別指導を行った。	乳幼児健診や30・35歳健診等において、生活習慣改善に向けた情報提供や個別指導を行う。	健康推進課
	119	職域との積極的な連携を図り、健康教育及び健（検）診受診への啓発を充実させる。	6月上旬に健康宣言チャレンジ事業所136か所にあま市の健康づくりメニューを周知し、申し込みのあった8事業所へ健康に関する情報提供を行った。また、10月11日に出前講座を実施した。	健康宣言事業所に対し、健康マイレージ含めたWチャレンジ事業や出前講座等の周知を行う。	健康推進課
	120	医科、歯科、薬科など関係機関との連携を強化する。	2月に保健対策推進協議会を開催し、情報提供し、連携を強化する。	保健対策推進協議会を開催し、医科、歯科、薬科など関係機関との連携を強化する。	健康推進課
	121	特定健康診査やがん検診を受けやすい体制づくりに取り組む。	海部医師会・津島市医師会の指定医療機関において、がん検診と特定健診の同時実施体制をとり、受診しやすい環境づくりに努めた。	海部医師会・津島市医師会の指定医療機関において、がん検診と特定健診の同時実施体制をとり、受診しやすい環境を整備する。	保険医療課
			3センターで集団検診を実施した。働き世代も受けやすいようにウェブ申込み、週休日にも検診を実施した。	3センターで集団検診を実施した。働き世代も受けやすいようにウェブ申込み、週休日にも検診を実施する。	健康推進課
	122	特定健康診査やがん検診の未受診者の把握に努め、受診勧奨を強化する。	広報、LINE、ポスター掲示等による特定健診の周知啓発を行った。過去5年間の健診受診歴とレセプトを組み合わせた分析を行い、被保険者の受診傾向に応じた通知の送り分けによる受診勧奨を実施した。（特定健診受診勧奨通知：4,754人）	広報、LINE、ポスター掲示等による特定健診の周知啓発を行う。被保険者の受診傾向を分析し、効果的な受診勧奨を実施する。	保険医療課
			乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者890人に対し12月に勧奨通知を送付し、再度受診勧奨を行った。	乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者に対し12月に勧奨通知を送付し、再度受診勧奨を行う。	健康推進課
	123	生き生き推進隊の活動を支援する。	役員会（8回）、定例会（10回）を定期的に開催し、健康づくりを市民へ推進していくための方法等話し合いを実施。また、8月あまつり、10月あまのわにおいて、活動支援を行った。	市のイベントや地域のサロン等において、生き生き推進隊が主体的に健康づくりを市民へ推進していくために、引き続き団体活動支援を行っていく。	健康推進課
	124	お薬手帳の利用を勧奨する。	国民健康保険加入者へ適正受診についてのチラシを配布し、お薬手帳の利用を啓発した。レセプトにより抽出された重複服薬者に対し、お薬手帳を利用し薬剤師に相談するよう個別通知を実施した。	国民健康保険加入者へ適正受診を啓発するチラシを配布する。重複服薬者に対し、お薬手帳の利用を促す個別通知及び指導を実施する。	保険医療課

2 重症化予防

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
重症化 予 防	125	有所見者への対策としては、重症化につながる高血圧症及び糖尿病について、セミナーの開催や訪問による医療機関への受診勧奨を実施し、適切な治療につなげて、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の重症化予防を図る。	特定健診の結果において「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」に関する値が受診勧奨レベルに該当し、医療機関を受診していない者を対象に、医療機関の受診勧奨を実施した。（医療受診勧奨通知：497人） HbA1cが保健指導判定値以上の者を対象に、体験型の教室「糖尿病にならないための教室」及び動画配信形式の教室「血糖値はなぜ上がる？」を1月に実施予定である。	特定健診の結果において「糖尿病」「高血圧症」等の生活習慣病の原因に関する値が受診勧奨レベルに該当し、医療機関を受診していない者を対象に、医療機関の受診勧奨を実施する。 HbA1cが保健指導判定値以上の者を対象に、体験型の糖尿病予防教室を実施する。	保険医療課
	126	継続したがん検診の必要性について啓発して、ライフスタイルに合わせた受診しやすい体制づくりを進める。	集団検診・個別検診実施に向け、全てのがん検診対象者に受診券を送付し、がん検診ガイド・市公式ウェブサイトにて周知した。 また集団検診では、インターネット・電話で予約できるように継続した。	集団検診・個別検診実施に向け、全てのがん検診対象者に受診券を送付し、がん検診ガイド・市公式ウェブサイトにて周知をする。 また集団検診では、インターネット・電話で予約できるように継続する。	健康推進課
	127	要精密検査者には、医療受診の勧奨に努めて、早期発見につなげる。	要精密検査者の精検受診状況を各医療機関へ調査し、未受診者に対して検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう勧奨した。	要精密検査者の精検受診状況を各医療機関へ調査し、未受診者に対して検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう勧奨する。	健康推進課

3 家族、世帯を踏まえた取組の推進

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
家族・ 世帯・	128	家族・地域での交流を図り健康づくりに関心をもつ。	園の意見を参考に電子タバコの内容も加え防煙教室を行い、家族が受動喫煙について話をするきっかけになった。（公立保育園9園、幼稚園4園、こども園2園の年長児571名に対し実施）ラジオ体操や親子料理教室など親子で参加できる教室を、ポスターや広報などで周知した。	防煙教室の内容を園からの意見を参考に改良しながら継続していく。ラジオ体操や親子料理教室など親子で参加できる教室を、ポスターや広報などで周知していく。	健康推進課

歯と口腔保健計画に関する行政の取組

1 歯と口腔の健康づくり
(1) ライフステージ別の歯と口腔の健康づくり

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	1	歯と口の健康週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	歯と口の健康週間の際に保健センターにポスターを掲示した。	歯の健康センターで啓発する。歯と口の健康週間の際に保健センターにポスターを掲示する。	健康推進課
	2	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査を啓発する。	日程一覧表の内容を精査し、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診を勧奨した。	日程一覧表の内容を精査し、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診を勧奨する。	健康推進課
	3	乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	3～4か月児健康診査、子育て相談、親子で遊ぼう！歯っぴい教室でリーフレットを配布し、内容の説明をした。	歯の健康センターでポスターを掲示し啓発する。3～4か月児健康診査、子育て相談、親子で遊ぼう！歯っぴい教室でリーフレットを配布し、内容の説明をする。	健康推進課
	4	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	フッ素入り歯磨剤や理想的なおやつを自発的に選択できるよう、リーフレットの内容を精査し、母子歯科健診等で配布した。	フッ素入り歯磨剤や理想的なおやつを自発的に選択できるよう、リーフレットの内容を精査し、母子歯科健診等で配布する。必要な方に歯みがき指導を行う。	健康推進課
	5	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査（パパママ歯科健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）や園での歯みがき教室でフロスの使用効果について啓発した。	母子歯科健診で、フロスの使用効果について啓発する。園での歯みがき指導の際にフロスの実習を行う。	健康推進課
	6	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	パパママ歯科健康診査、親子で遊ぼう！歯っぴい教室で啓発する。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時にリーフレットを配布した。	パパママ歯科健康診査、親子で遊ぼう！歯っぴい教室で啓発する。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時にリーフレットを配布する。	健康推進課
	7	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診後、対象者に治療勧奨し後日受診状況を確認した。	歯科健診後、対象者に治療勧奨し後日受診状況を確認する。	健康推進課
	8	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響をわかりやすく普及・啓発する。	母子健康手帳交付時、赤ちゃん訪問時、対象者に禁煙、受動喫煙についてのリーフレットを配布し説明する。パパママ教室（一般）、パパママ歯科健康診査で啓発した。	母子健康手帳交付時、赤ちゃん訪問時、対象者に禁煙、受動喫煙についてのリーフレットを配布し説明する。パパママ教室（一般）、パパママ歯科健康診査で啓発する。	健康推進課
	9	口腔習癖の弊害を啓発する。	母子歯科健診で、口腔習癖を持っている人に個別で声掛けして支援し、次の健康診査の際に確認した。	母子歯科健診で、口腔習癖を持っている人に個別で声掛けして支援し、次の健康診査の際に確認する。	健康推進課
	10	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	パパママ歯科健康診査、離乳食教室、親子で遊ぼう！歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の動きの関連や、口腔の発達に合った食形態について啓発した。	パパママ歯科健康診査、離乳食教室、親子で遊ぼう！歯っぴい教室、乳幼児歯科健診の際に成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	健康推進課
	11	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	8020を達成し、健やかな人生を送る為、妊娠中から乳幼児期にかけて身につけておきたい口腔衛生習慣についてパパママ歯科健康診査で啓発した。	8020を達成し、健やかな人生を送る為、妊娠中から乳幼児期にかけて身につけておきたい口腔衛生習慣についてパパママ歯科健康診査で啓発する。	健康推進課
児 童 期 ・ 思 春 期	12	歯と口の健康週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設けて献立表や放送資料で紹介を行っている。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設けて献立表や放送資料で紹介を行う。	学校教育課
	13	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	小中学校において、かかりつけ歯科医を持つよう啓発した。	小中学校において、かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	健康推進課 学校教育課
	14	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	小中学校において、おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及した。	小中学校において、おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	健康推進課 学校教育課
	15	歯と口腔の大切さについて、周知する。	小中学校において、歯や口腔の大切さについて啓発した。	小中学校において、歯や口腔の大切さについて啓発する。	健康推進課 学校教育課
			小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施した。3校1,000人	小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施する。3校1,000人	学校教育課
	16	歯みがき指導を推進する。	小中学校において、歯みがき指導を実施した。	小中学校において、歯みがき指導を実施する。	健康推進課 学校教育課
			小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施した。3校1,000人	小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施する。3校1,000人	学校教育課
	17	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	小中学校で、歯間清掃用器具の使用効果について啓発した。	小中学校で、歯間清掃用器具の使用効果について啓発する。	健康推進課 学校教育課
	18	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	小中学校で、むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発した。	小中学校で、むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	健康推進課 学校教育課
	19	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行った。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	学校教育課
	20	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	小中学校で、成長に伴う口腔機能の発達について啓発した。	小中学校で、成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	健康推進課 学校教育課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
児童期・ 青年期	21	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	小中学校で、8020運動について周知した。	小中学校で、8020運動について周知する。	健康推進課
					学校教育課
青年期・ 壮年期・ 高齢期	22	歯と口の健康週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報で周知をした。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報で周知をする。	健康推進課
	23	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	歯と口腔の健診で、歯周病と全身疾患に関するリーフレットを配布した。	歯と口腔の健診で、歯周病と全身疾患に関するリーフレットを配布する。	健康推進課
	24	医科、歯科、薬科等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図る予定。1月開催予定。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図る予定。1月開催予定。	健康推進課
	25	口腔機能の向上を啓発する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓発文書を配布する。出前講座で口腔機能の向上について啓発した。	出前講座で口腔機能の向上について啓発する。	健康推進課
	26	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	がん検診・30・35歳健診と同時にを行い、75歳に受診勧奨はがきを送付することで受診者の増加を図った。	がん検診・30・35歳健診と同時にを行い、75歳に受診勧奨はがきを送付することで受診者の増加を図る。	健康推進課
	27	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。	喫煙と歯周病に関するリーフレットを歯と口腔の健診受診者に配布した。	喫煙と歯周病に関するリーフレットを歯と口腔の健診受診者に配布する。	健康推進課
	28	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	10020・9020・8020表彰を実施する。出前講座で8020運動の推進の為の口腔ケアの方法を啓発した。	10020・9020・8020表彰を実施する。出前講座で8020運動の推進の為の口腔ケアの方法を啓発する。	健康推進課
	29	介護予防（口腔機能の向上）を啓発する。（高齢期）	介護予防教室で啓発した。 講演会等でリーフレットの配布を行った。	介護予防教室で啓発する。 講演会等でリーフレットの配布する。	高齢福祉課
			歯と口の健康を保つことを目的として、「オーラルフレイルについて学ぼう！」講座を、シルバーカレッジの授業として実施した。 日時：11月12日（火）午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 受講者数：35名	歯と口の健康を保つことを目的として、「オーラルフレイルについて学ぼう！」講座を、シルバーカレッジの授業として実施する。 日時：11月29日（土）午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 対象：令和7年度シルバーカレッジ受講生	生涯学習課
			民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓発文書を配布する。出前講座で口腔機能の向上について啓発した。	出前講座で口腔機能の向上について啓発する。	健康推進課
	30	要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。	相談対応時に情報提供を行った。 9月19日の介護保険サービス事業者連絡会において、歯科医師の講義と歯科医師及び介護関係職員との交流を行った。	相談対応時に情報提供を行う。 9月の介護保険サービス事業者連絡会において、歯科医師の講義と歯科医師及び介護関係職員との交流を行う。	高齢福祉課
	31	お薬手帳の利用を勧奨する。	窓口や健康相談に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発した。	窓口や健康相談に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発する。	健康推進課

(2) 食育との関わり

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
乳妊 幼 娠 児 期 ・	32	口から食べる準備や、食べる機能（特に咀嚼）と食べ方、摂食機能の発達段階に対応した基本的な支援を実施する。	離乳食教室、親子で遊ぼう！歯っぴい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行った。	離乳食教室、親子で遊ぼう！歯っぴい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行う。乳幼児歯科健診で必要な方に個別で支援する。	健康推進課
児童期・ 思春期	33	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施する。	小中学校で、歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施した。	小中学校で、歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施する。	健康推進課
					学校教育課
青年期・ 壮年期	34	食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	栄養相談や保健指導の際に、必要な方にゆっくりよくかんで食べるよう指導した。	栄養相談や保健指導の際に、必要な方にゆっくりよくかんで食べるよう指導する。	健康推進課
高齢期	35	口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓発文書を配布する。出前講座で口腔機能の向上について啓発した。	出前講座で口腔機能の維持の必要性を啓発し、安全に食事がとれるよう支援する。	健康推進課

食育推進計画に関する行政の取組

1 食育推進の施策展開

施策	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
1 食を通じて健康な体をつくる	1	バランスのとれた規則正しい食生活の実践を啓発する。	母子健康手帳交付した434人やパパママ教室に参加した174人に対し、バランスのとれた規則正しい食生活の啓発を行い、希望者に対して個別栄養相談や子育て相談を行った。	母子健康手帳交付時やマタニティ教室で、バランスのとれた規則正しい食生活の啓発を行い、希望者に対して個別栄養相談や子育て相談を行う。	健康推進課
	2	食に関する指導を充実させ、食育を推進する。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図った。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図っていく。	保育課
			各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導した。	各小中学校において食に関する指導の全体計画をもとに指導する。	学校教育課
	3	給食だよりの充実を図る。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識の普及に努めている。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識の普及に努める。	学校教育課
	4	食育に関する地域の社会資源との連携を推進する。	J Aあいち海部と協同し、あま市の農作物を多く給食でできるように連携している。	J Aあいち海部と協同し、あま市の農作物を多く給食でできるように連携する。	学校教育課
	5	食育の日（毎月19日）を啓発する。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に周知、啓発に努めた。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に周知、啓発に努めていく。	保育課
			毎月19日前後の給食を食育の日献立とし、年間計画の食に関する指導の全体計画に沿った献立を提供している。	毎月19日前後の給食を食育の日献立とし、年間計画①②の食に関する指導の全体計画に沿った献立を提供する。	学校教育課
	6	食の安全・安心に関する知識を啓発・普及する。	7月に食の安全・安心に関する内容などを掲載した保護者向けの食育だよりと食に関する情報を掲載した教職員向けの食育メッセージを配付した。また、2月にも配布を予定している。	食の安全・安心に関する内容などを掲載した食育だよりを保護者に配布する。また、食に関する情報を掲載した食育メッセージを各学校の教職員に配布する。	学校教育課
			広報10月号にて食育ボランティアによるレシピを掲載した。また、栄養教室（1回）、子育て支援センターで栄養講話（2回）の支援をした。	広報で食育ボランティアのレシピを掲載し、市公式ホームページで周知する。また、食育ボランティアによる栄養講話や栄養教室で知識の啓発をする。	健康推進課
	7	朝食や野菜の摂取を始めとする望ましい食習慣を普及する。	3～4か月児健診の保護者（411名）にリーフレットを配布し、野菜摂取を促した。「健康づくり応援店」市内8店舗に朝食啓発、野菜摂取量の増加を促すためのポスターの掲示を依頼した。	3～4か月児健診の保護者に対し、リーフレットを配付し野菜摂取量の増加を促す。食育ボランティアによる栄養教室を実施し、望ましい食習慣を普及する。	健康推進課
	8	適正体重を周知する。	活き生き推進隊とともに、健康相談において体組成計を使用し、適正体重について周知した。（10回86人）	健康相談において体組成計を使用し、適正体重について周知する。	健康推進課
2 食を通じて豊かな心を育む	9	給食内容の充実を図る。	毎月献立検討会、物資選定委員会等を開催して、内容の充実を図っている。 J Aあいち海部と協同し、あま市の農作物を給食でできるように連携に取り組んでいる。また、世界の料理を大量調理できるようにアレンジしたものを給食に取り入れ、給食だより等で紹介している。	毎月献立検討会、物資選定委員会等を開催して、内容の充実を図る。 J Aあいち海部と協同し、あま市の農作物を給食でできるように連携に取り組む。また、世界の料理を大量調理できるようにアレンジしたものを給食に取り入れ、給食だより等で紹介する。	学校教育課
	10	給食を通して子どもの豊かな心を育成する。	食に関する指導で食べ物の大切さについて話をするとともに、給食だよりや放送資料を活用して豊かな心を育成するように行っている。学校給食センター見学を通じて、給食への理解・関心を深めている。	食に関する指導で食べ物の大切さについて話をするとともに、給食だよりや放送資料を活用して豊かな心の育成をする。学校給食センター見学を実施し、給食への理解・関心を深める。	学校教育課
	11	食文化や郷土料理を継承する。	愛知県及び全国の郷土料理を大量調理できるようにアレンジをして給食に取り入れ、給食だより等で紹介している。	愛知県の郷土料理を大量調理できるようにアレンジをして給食に取り入れ、給食だより等での紹介する。	学校教育課
			食育ボランティアによる料理教室（1回）や栄養講話（2回）の実施や広報にレシピの掲載を行った。	食育ボランティアによる料理教室や栄養講話にて食文化や郷土料理の継承をしていく。	健康推進課
	12	子どもや親子を対象とした講座・料理教室等を開催する。	「親子で作るお弁当講座」等、親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施した。 「親子で作るお弁当講座」 日時：①11月23日（土）午前9時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：親子	「親子で作るお弁当講座」等、親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施する。	生涯学習課
			食育ボランティアによる料理教室を実施した。 開催日時：10月9日（水）参加者12人 また、子育て支援センターで栄養講話（2回）を開催した。	料理教室や栄養講話の開催を支援する。	健康推進課

施策	番号	第2次計画の取組項目	令和6年度の取組状況（12月末現在）	令和7年度実施計画	関係課
2 食を通じて豊かなこころを育む	13	全ての世代に向けて、食育に関わる情報を発信する。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図った。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図っていく。	保育課
			栄養士が各園に訪問し、園児に対して食品カード等を使用し、食に関する指導を行っている。また、栄養教諭が、就学時検診の時に、生活習慣などについての話を行った。	栄養士が各園に訪問し、園児に対して食育媒体を使用し、食に関する指導を行う。また、栄養教諭が、就学時検診等で、生活習慣などについての話をを行う。	学校教育課
			各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導している。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めた。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導する。また、啓発資料などを活用し、教職員の食に関する意識を高める。	学校教育課
	14	子どもが保護者や地域とともに食育を学べる機会を設ける。	食育ボランティアによる料理教室を実施した。 開催日時：10月9日（水）参加者12人 また、子育て支援センターで栄養講話（2回）を開催した。	食育ボランティアによる料理教室を開催する。	健康推進課
			親子料理教室を実施した。	親子料理教室の開催を計画する。	学校教育課
			食育ボランティアによる料理教室（1回）や栄養講話（2回）の実施や広報にレシピの掲載を行った。	料理教室や栄養講話の開催により食育を学ぶ機会を設ける。	健康推進課
3 食を通じて環境に優しい暮らしを築く	15	地産地消に関する情報を提供する。	あま市の農作物をより多く給食でできるようにＪＡあいち海部と連携を図り、給食で使用する農作物については、給食だよりや学校放送資料等に記載し、情報提供している。	あま市の農作物をより多く給食でできるようにＪＡあいち海部と連携を図り、給食で使用する農作物については、給食だよりや学校放送資料等に記載し、情報提供する。	学校教育課
			食育ボランティアによる料理教室（1回）や栄養講話（2回）の実施や広報にレシピの掲載を行った。	料理教室や栄養講話の開催をする。	健康推進課
	16	食の情報が得られる講座等を開催する。	各学校で開催される保護者対象の給食試食会や給食参観にて栄養教諭が食について講話を行った。	各学校で開催される保護者対象の給食試食会や給食参観にて栄養教諭が食について講話を行う。	学校教育課
			食育ボランティアによる料理教室を実施した。 開催日時：10月9日（水）参加者13人 また、子育て支援センターで栄養講話（2回）を開催した。	食育ボランティアによる料理教室や栄養講話を開催し食育活動を推進する。	健康推進課
	17	特産野菜・伝統野菜をＰＲする。	公式ウェブサイトに紹介ページを設け、あま市の特産・伝統野菜をPRする。また、生産者と協力し、庁舎1階ロビーにニツ寺大根の種を配布し、市民の関心を高めるよう取り組んだ。	公式ウェブサイトに紹介ページを設け、あま市の特産・伝統野菜をPRする。また、生産者と協力し、市民の関心を高めるよう取り組む。	農政課
			給食で使用する農作物を、給食だよりや学校放送資料等に記載し配布している。	給食で使用する農作物を、給食だよりや学校放送資料等に記載し配布する。	学校教育課
	18	伝統野菜を継承する。	学校給食の献立に越津ねぎ、小松菜を活用している。	学校給食の献立に越津ねぎ、小松菜を活用する。	学校教育課
	19	給食において地元農産物を活用する。	愛知県内や海部地域の食品を優先して使用している。 ＪＡあいち海部と協同し、あま市の農作物をより多く給食でできるように取り組んでいる。	愛知県内や海部地域の食品を優先して使用する。 ＪＡあいち海部と協同し、あま市の農作物をより多く給食でできるように取り組む。	学校教育課
			あま市立小中学校及び公立保育園に対して、有機農作物を使用した給食を年3回（5月、12月、翌1月）提供している。	あま市立小中学校及び公立保育園に対して、有機農作物を使用した給食を年3回（5月、12月、翌1月）提供する。	学校教育課
	20	米飯給食を推進する。	学校給食の主食で米飯を週4回以上提供している。	学校給食の主食で米飯を週4回以上提供する。	学校教育課
	21	食べ物に感謝する食育を推進する。	保育園で栽培する野菜の生長過程を見せたり収穫体験を行った。また、家庭に持ち帰り調理することで親子で食についての会話につながるよう努めた。	保育園で栽培する野菜の生長過程を見せたり収穫体験を行う。また、家庭に持ち帰り調理することで親子で食についての会話につながるよう努めていく。	保育課
			保育園の残食量について園職員に周知を行った。	保育園の残食量について園職員に周知を行っていく。	保育課
			給食センターを見学訪問し、給食を作る過程や調理員の働いている姿を見ることで食べ物に感謝する気持ちにつなげていった。	5歳児は、給食センターに見学に行き、給食を作る過程や調理員の働いている姿を見ることで食べ物に感謝する気持ちにつなげていく。	保育課
			保育園・学校に食の指導を実施している。食べ物の大切さについて話し、食に関する指導をしている。	保育園・学校に食の指導を実施する。食べ物の大切さについて話し、食に関する指導する。	学校教育課
	22	食品廃棄物の減量に向けた取組の充実を図る。	学校で食の指導を通して、食べ物の大切さについて話をし、食品廃棄物の減量に取り組んでいる。	学校で食の指導を通して、食べ物の大切さについて話をし、食品廃棄物の減量に取り組む。	学校教育課